

## 第7期（2015年度）事業報告

### 1. 概要

2015年度事業の主なものは(1)(2)の通りであり、特に(1)の詳細は2～5項に示す。

#### (1)2015年度事業の実施

- ①褒賞事業・助成事業の実施
- ②特別講演会の実施
- ③アウトリーチ活動の実施
- ④刊行物の発行など
- ⑤施設の維持管理、情報化体制整備

#### (2)2016年度事業計画及び収支予算計画の作成

### 2. 褒賞事業・助成事業

褒賞事業・助成事業は次のような経過で計画通りの事業を行うことができた。

#### (1)推薦・公募期間

- ①秋山財団賞 2015年2月1日～3月20日  
(財団賞候補者の推薦を、財団理事・評議員並びに財団の定める各研究機関の長に依頼)
- ②研究助成 2015年2月1日～3月20日  
(公募案内ポスターなどを道内各研究機関などに配布及びHPにて案内)
- ③ネットワーク形成事業助成 2015年2月1日～3月20日  
(公募案内ポスターなどを関係機関に配布及びHPにて案内)

#### (2)申込状況

- ①秋山財団賞 6件
- ②研究助成 193件(一般106件、奨励87件)
- ③ネットワーク形成事業助成 13件(“地域をつなぐ”プロジェクト10件)  
 (“いのちをつなぐ”プロジェクト3件)

#### (3)褒賞事業・助成事業実施計画の策定

##### ①秋山財団賞及び②研究助成

第11回研究助成選考委員会(2015年4月9日)において選考方針を確認した上で、選考作業を依頼した。第12回研究助成選考委員会(2015年5月13日)において、「2015年度秋山財団賞実施計画(案)」及び「2015年度研究助成実施計画(案)」を作成し、第12回理事会(2015年6月6日)・評議員会(2015年6月20日)においてこれを審議し、原案通り決議された。

別紙参照

##### ③ネットワーク形成事業助成

第14回ネットワーク形成事業助成等選考委員会(2015年4月11日)において一次選考を行い、二次選考対象の5プロジェクトを選出した。第15回ネットワーク形成事業助成等選考委員会(2015年5月17日)において「2015年度ネットワーク形成事業助成実施計画(案)」を作成し、第12回理事会(2015年6月6日)・評議員会(2015年6月20日)においてこれを審議し、原案通り決議された。

別紙参照

#### (4) 合同報告会

一般財団法人 前田一步園財団 自然環境保全活動助成事業と秋山財団 ネットワーク形成事業 助成の助成事業報告会を下記の通り行った。

日 時 2015年7月5日(日) 13:00~19:30  
場 所 ホテルポールスター札幌  
出席者 受領団体 13 団体(前田一步園財団 5 団体、秋山財団 8 団体)  
秋山財団関係出席者 ・受領プロジェクト 19 名  
・理事、評議員、選考委員 11 名  
・オブザーバーなど 15 名  
(合計 45 名)

#### (5) 贈呈式

日 時 2015年9月3日(木) 13:30~18:30  
場 所 札幌プリンスホテル 国際館パミール  
出席者 ・来 賓 北海道大学 総長 山口 佳三  
・各大学、関係各企業、報道関係者など 92 名  
・秋山財団賞、助成金受領者 38 名  
・財 団 理事、監事、評議員、選考委員 31 名  
(合計 162 名)  
(・祝賀会出席者 合計 148 名)

#### 3. 特別講演会

日 時 2015年9月3日(木) 14:20~15:40  
贈呈式当日、札幌プリンスホテル 国際館パミールにおいて特別講演会を開催した。  
演 者 ノンフィクション作家・評論家 保阪 正康 様  
演 題 「戦後 70 年を考える」～歴史的視点での考察～  
座 長 株式会社 エフエム小樽放送局 フリーパーソナリティ 渡辺 大助 様  
出席者 201 名

#### 4. アウトリーチ活動

##### (1) フォーラム「菜の花畑の見学会」

日 時: 2015年5月22日(金)

会 場: メノビレッジ長沼

プログラム: ネットワーク形成事業助成「みんなの花」プロジェクト(2012~2014 年度助成)の  
アウトリーチ活動に参加。なたねの開花時に、小学生を菜の花畑に招き写生会を  
実施、地元の歴史や文化を伝えた。

##### (2) 合同報告会

日 時: 2015年7月5日(日)

会 場: ホテルポールスター札幌

プログラム: 前田一步園財団との共催、両財団の助成事業報告会及び懇談会実施。

(3)とわの森三愛高等学校 学校祭

日 時:2015年7月18日(土)

会 場:とわの森三愛高等学校

プログラム:ネットワーク形成事業助成「ともにつくろう!江別から発信 食文化の創造」プロジェクト(2013~2015年度助成)のポスター展示など見学。

(4)第2回 北の高校生会議

日 時:2015年7月31日(金)~8月2日(日)

会 場:大沼国際セミナーハウス及びネイパル森

プログラム:ネットワーク形成事業助成「北の高校生会議」プロジェクト(2015~2017年度助成)のアウトリーチ活動に参画。高校生へのプレゼンテーション 講師は当財団 尾島評議員が務めた。

(5)「酪農学園大学★ひらめき教室」

日 時:2015年8月11日(火)

会 場:酪農学園大学

プログラム:当財団 横田選考委員(酪農学園大学)によるアウトリーチ活動に参加。小学生を対象に「ウシのお医者さん体験」などを実施。また、小学生へのプレゼンテーション 講師は2015年度一般助成受領者 酪農学園大学 北村浩先生、2015年度奨励助成受領者 酪農学園大学村田亮先生が務めた。

(6)贈呈式

日 時:2015年9月3日(木)

会 場:札幌プリンスホテル国際館パミール

プログラム:受領者からのメッセージ、特別講演会、贈呈式、祝賀会など実施。

(7)高岡研究室(当財団 高岡評議員研究室)交流会

日 時:2015年9月11日(金)

会 場:北海道大学遺伝子病制御研究所

プログラム:高岡研究室メンバーと交流会実施。

(8)北海道薬科大学「親子のための体験薬剤師」

日 時:2015年9月27日(日)

会 場:北海道薬科大学

プログラム:北海道薬科大学、財団共催によるアウトリーチ活動。中学生・保護者を対象とした「親子のための体験薬剤師」を実施。中学生へのプレゼンテーション講師は2015年度奨励助成受領者 北海道薬科大学 佐藤恵亮先生・戸上紘平先生が務めた。

(9)「地域の再生可能エネルギー」~私たちの未来のために~

日 時:2015年10月2日(金)~10月5日(月)

会 場:札幌、芦別、夕張

プログラム:トヨタ財団、北海道再生可能エネルギー振興機構、北海道大学持続可能な低炭素社会づくりプロジェクト、財団共催による、現地視察・国際シンポジウム・ワークショップなどを実施。

- (10)旭川医科大学 交流会  
日 時:2015年10月20日(火)  
会 場:旭川医科大学  
プログラム:2015年度一般助成受領者 旭川医科大学 西川祐司先生、2015年度奨励助成受領者 旭川医科大学 大栗敬幸先生・宮園貞治先生を中心に、旭川医科大学教員、医学部生と交流会実施。
- (11)北海道大学女性研究者支援室 交流会  
日 時:2015年10月29日(木)  
会 場:北海道大学エンレイソウ  
プログラム:北大研究者、その他関係者と交流会実施。2014年度奨励助成受領者 北海道大学 仁木加寿子先生、2015年度一般助成受領者 北海道大学 畠山鎮次先生も参加。
- (12)札幌市中学校文化連盟主催 第49回「私たちの科学研究発表会」  
日 時:2015年10月31日(土)  
会 場:北海道教育大学  
プログラム:札幌市内の中学校科学部 研究成果発表会出席。
- (13)テッラ・マードレ・ジャパンin北海道 2015  
日 時:2015年11月1日(日)～11月8日(日)  
会 場:十勝、占冠、札幌  
プログラム:ネットワーク形成事業助成「大地といのちをつなぐプロジェクト(LoCoTABLE)」(2014～2016年度助成)のアウトリーチ活動に参画。講演会、ワークショップ、若者による取り組み発表などを実施。
- (14)公益法人協会 トップマネジメントセミナー2015  
日 時:2015年11月10日(火)～11日(水)  
会 場:IPC生産性国際交流センター(神奈川県逗子市)  
プログラム:公益法人協会会員によるセッション、パネルディスカッションに参画。キーノートスピーチ「新制度下における法人運営を考える」は、秋山理事長が務める。
- (15)立命館慶祥中学校 北海道大学キャンパスツアー  
日 時:2015年11月18日(水)  
会 場:北海道大学大学院医学研究科  
プログラム:2015年度一般助成受領者 北海道大学 畠山鎮次先生によるアウトリーチ活動。立命館慶祥中学校3年生へ講義を実施。
- (16)東海大学 アウトリーチ活動  
日 時:2015年11月18日(水)  
会 場:東海大学札幌キャンパス  
プログラム:2015年度一般助成受領者 北海道大学(現在所属先:東海大学)寺尾晶先生によるアウトリーチ活動。東海大学大学生へ講義、その後、東海大学教員も含め交流会実施。

- (17)2015 年度 北海道美幌高等学校 校内実績発表大会  
日 時:2015 年 12 月 8 日(火)  
会 場:美幌町民会館「びほーる」  
プログラム:校内実績発表大会に参加。ネットワーク形成事業助成「ハッカの香るまちづくり  
～地域の伝統的農産物を後世に伝えよう～」プロジェクト(2013～2015 年度  
助成)の発表。
- (18)さっぽろサイエンスフェスティバル 2015 in 北大  
日 時:2015 年 12 月 19 日(土)  
会 場:北海道大学学術交流会館  
プログラム:特定非営利活動法人ブツクラ、北海道大学女性研究者支援室共催、財団後援  
によるアウトリーチ活動。
- (19)畜大ふれあいフェスティバル 2015  
日 時:2015 年 12 月 23 日(水)  
会 場:帯広市とかちプラザ  
プログラム:秋山財団研究助成事業研究報告(報告者:2015 年度 奨励助成受領者 帯広  
畜産大学 川合佑典先生)に出席。
- (20)防災研修会「冬期の避難所生活」  
日 時:2016 年 2 月 7 日(日)  
会 場:札幌市民防災センター  
プログラム:防災研修会に参加。講師は、ネットワーク形成事業助成『厳冬期の災害に向き  
合い、「地力(ちぢから)」の向上でいのちを護る』プロジェクト(2015～2017 年度  
助成)代表者 根本昌宏氏が務めた。
- (21)助成財団センター設立 30 周年記念「平成 27 年度 助成財団の集い」  
日 時:2016 年 2 月 10 日(水)  
場 所:御茶ノ水ソラシティ・カンファレンスセンター(東京)  
プログラム:助成財団センター主催のセミナー。基調講演、4 財団による活動事例報告、情報  
交換などに参画。秋山理事長が、「地域をつなぐ助成へチャレンジ」をテーマに事例  
報告を行った。
- (22)ロコタブルミーティング 2016  
日 時:2016 年 3 月 4 日(金)  
場 所:愛生館サロン  
プログラム:ネットワーク形成事業助成「大地といのちをつなぐプロジェクト(LoCoTAbLe)」  
(2014～2016 年度助成)のアウトリーチ活動に参加。若者のプレゼンテーション、  
「テッラ・マードレ・ジャパン in 北海道」記録映像上映会、交流会などを実施。
- (23)まじくるフェスタ in さっぽろ  
日 時:2016 年 3 月 5 日(土)～3 月 6 日(日)  
場 所:札幌エルプラザ  
プログラム:ネットワーク形成事業助成『「生きづらさ」を原動力に「生きること」の意味を  
再発信!』プロジェクト(2015～2017 年度助成)のアウトリーチ活動に参加。  
講演、対談、フィードバック研究会などを実施。

(24)サイエンスイベント

日 時:2016年3月6日(日)

場 所:フィール旭川

プログラム:2015年度一般助成受領者 旭川医科大学 西川祐司先生、奨励助成受領者 旭川医科大学 大栗敬幸先生他 3名の受領者によるアウトリーチ活動に参加。市民を対象としてサイエンスイベントを実施。

(25)宮の森中学校での活動発表会

日 時:2016年3月8日(火)

場 所:宮の森中学校

プログラム:ネットワーク形成事業助成「高校生による被災地とのネットワーク形成」プロジェクト(2013~2015年度助成)の活動発表会に出席。

(26)北海道大学 獣医学研究科FD・情報交換会「研究者のアウトリーチ活動とは？」

日 時:2016年3月11日(金)

場 所:北海道大学獣医 第2講義室

プログラム:当財団2015年度研究助成 石塚選考委員(北海道大学)を中心に、北海道大学 獣医学部研究者との情報交換会を実施。

(27)道外助成財団 意見交換会

日 時:2016年3月16日(水)

場 所:三島海雲記念財団

プログラム:道外助成財団(3財団)との、第1回 意見交換会開催。

(28)倶知安農業高等学校 交流会

日 時:2016年3月28日(月)

場 所:秋山財団

プログラム:ネットワーク形成事業助成「明日のニセコエリアの礎は私達が創る“本物の農”の営みから！」プロジェクト(2015~2017年度助成)のプラットフォームメンバー(高校生10名、教諭3名)との交流会開催。

5. その他の事業

(1)刊行物の発刊

次の資料を発刊し、関係者に配布した。

・「秋山財団年報(平成26年度)」 (600部)

・「秋山財団ブックレットNo.23」 (700部)

(2)施設の維持管理

施設を財団事務局の恒常業務に使用するほか、基本財産の維持・管理のため保守整備に努めた。

(3)情報化体制整備

当財団HP、公募案内ポスターの配布及びアウトリーチ活動などを通じて、助成公募のより一層の周知に努めるとともに、合同報告会、贈呈式の動画を公開して積極的な情報開示を図った。更にHPを活用し、助成受領者や若い世代をはじめとする多様な研究者、市民、高校生とのコミュニケーションを重視した双方向性を強化した。

## 6. 処務概要

(1)2016 年度 事業計画及び収支予算計画の作成

(2)理事・監事・評議員・選考委員に関する事項

### 【 理 事・監 事 】

2015 年 4 月 1 日（五十音順・敬称略）

理 事	秋 野 豊 明	溪仁会グループ 会長
理 事	秋 山 孝 二	秋山不動産 有限会社 代表取締役会長
理 事	麻 田 信 二	学校法人 酪農学園 理事長
理 事	飯 塚 敏 彦	北海道大学 名誉教授
理 事	大 塚 榮 子	北海道大学 名誉教授
理 事	大 西 雅 之	鶴雅グループ 代表
理 事	金 川 弘 司	北海道大学 名誉教授
理 事	小 磯 修 二	北海道大学公共政策大学院 特任教授
理 事	宮 原 正 幸	公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団 常務理事
監 事	萱 場 利 通	株式会社 北海道総合技術研究所 代表取締役会長兼社長
監 事	北 上 敏 栄	北上会計事務所 所長

理事 9名 監事 2名

### 【 評 議 員 】

2015 年 4 月 1 日（五十音順・敬称略）

評 議 員	秋 山 基	株式会社 トライ 代表取締役
評 議 員	石 本 玲 子	一般社団法人 北海道広告業協会 事務局長
評 議 員	今 村 紳 彌	北海道旅客鉄道 株式会社 鉄道事業本部企画室 専任部長
評 議 員	上 田 宏	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 特任教授
評 議 員	尾 島 孝 男	北海道大学大学院水産科学研究院 教授
評 議 員	栗 原 清 昭	社会福祉法人 つばめ福祉会 理事長
評 議 員	佐 藤 昇 志	札幌医科大学 名誉教授
評 議 員	高 岡 晃 教	北海道大学遺伝子病制御研究所 所長
評 議 員	高 橋 尋 重	北海道電力 株式会社 札幌支店営業部お客さまセンター 主幹
評 議 員	丹 羽 祐 而	株式会社 丹羽企画研究所 代表取締役
評 議 員	森 美 和 子	北海道医療大学 客員教授
評 議 員	湯 浅 優 子	スローフード・フレンズ北海道 リーダー

評議員 12名

## 【研究助成選考委員】

2015年4月1日（五十音順・敬称略）

石 塚 真由美	北海道大学大学院獣医学研究科 教授
猪 熊 壽	帯広畜産大学臨床獣医学研究部門 教授
江 川 祥 子	北海道薬科大学生命科学分野 教授
大 場 雄 介	北海道大学大学院医学研究科 教授
尾 島 孝 男	北海道大学大学院水産科学研究院 教授
佐 藤 美 洋	北海道大学大学院薬学研究院 教授
清 野 研一郎	北海道大学遺伝子病制御研究所 副所長
高草木 薫	旭川医科大学医学部 教授
千 葉 逸 朗	北海道医療大学歯学部 教授
土 門 卓 文	北海道大学大学院歯学研究科 教授
内 藤 哲	北海道大学大学院農学研究院 教授
中 村 太 士	北海道大学大学院農学研究院 教授
波 川 京 子	川崎医療福祉大学医療福祉学部 教授
三 浦 哲 嗣	札幌医科大学医学部 教授
宮 下 和 夫	北海道大学大学院水産科学研究院 教授
横 田 博	酪農学園大学獣医学群 教授

研究助成選考委員 16名

## 【ネットワーク形成事業助成等選考委員】

2015年4月1日（五十音順・敬称略）

大 沼 芳 徳	一般社団法人 NITOBЕ 国際財団準備委員会 理事
加 藤 知 美	NPO法人 北海道NPOサポートセンター 理事
坂 本 純 科	NPO法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト 代表
鈴 木 善 人	株式会社 リープス 代表取締役
湯 浅 優 子	スローフード・フレンズ北海道 リーダー

ネットワーク形成事業助成等選考委員 5名

## (3)職員に関する事項

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
事 務 局 長	宮 原 正 幸	2012年6月1日
事 務 局(プログラムデザイナー)	國 井 真 理 子	2014年1月1日
事 務 局(プログラムデザイナー)	城 越 ゆ かり	2014年1月1日



(4)理事会・評議員会及び選考委員会に関する事項

①理事会

(ア)第12回:2015年6月6日(土)

- ・ 第6期(2014年4月1日～2015年3月31日)事業報告及び収支決算報告
- ・ 第12回 定時評議員会の開催
- ・ 2015年度 秋山財団賞、研究助成、ネットワーク形成事業助成実施計画
- ・ 2015年度 贈呈式及び特別講演会実施計画
- ・ 株式会社 スズケン 第69期 定時株主総会における議決権の行使

※以上5件の議案を原案通り決議

(イ)第13回:2016年1月16日(土)

- ・ 第8期(2016年4月1日～2017年3月31日)事業計画及び収支予算計画
- ・ 次期選考委員の承認
- ・ 選考委員会規程改定の案

※以上3件の議案を原案通り決議

②評議員会

(ア)第12回:2015年6月20日(土)

- ・ 第6期(2014年4月1日～2015年3月31日)事業報告及び収支決算報告
- ・ 2015年度 秋山財団賞、研究助成、ネットワーク形成事業助成実施計画
- ・ 2015年度 贈呈式及び特別講演会実施計画
- ・ 株式会社 スズケン 第69期 定時株主総会における議決権の行使

※以上4件の議案を原案通り決議

(イ)第13回:2016年1月16日(土)

- ・ 第8期(2016年4月1日～2017年3月31日)事業計画及び収支予算計画
- ・ 次期選考委員の選出
- ・ 選考委員会規程改定の案

※以上3件の議案を原案通り決議

③選考委員会

<研究助成>

(ア)第11回:2015年4月9日(木)

- ・ 選考委員長の選任
- ・ 2015年度 研究助成の審査・選考要領の決定
- ・ 2015年度 研究助成の審査・評価担当区分の決定
- ・ 2015年度 秋山財団賞の審査・選考要領の決定
- ・ 2015年度 研究助成選考委員会作業日程の決定

※選考委員長は選考委員の中から互選により選任、他4件の議案を原案通り決議

(イ)第12回:2015年5月13日(水)

- ・ 2015年度 研究助成実施計画(案)の決定
- ・ 2015年度 秋山財団賞実施計画(案)の決定

※以上2件の議案を審議通り決議

<ネットワーク形成事業助成>

(ア)第 14 回:2015 年 4 月 11 日(土)

- ・ 選考委員長の選任
- ・ 2015 年度 ネットワーク形成事業助成A“地域をつなぐ”プロジェクト B“いのちをつなぐ”プロジェクトの一次選考
- ・ 2015 年度 ネットワーク形成事業助成等選考委員会作業日程の決定

※選考委員長は選考委員の中から互選により選任、他 2 件の議案を審議、原案通り決議

(イ)第 15 回:2015 年 5 月 17 日(日)

- ・ 2015 年度 ネットワーク形成事業助成二次選考の実施
- ・ 2015 年度 ネットワーク形成事業助成実施計画(案)の決定
- ・ 2014 年度 ネットワーク形成事業助成受領プロジェクト「大地といのちをつなぐプロジェクト」の 2015 年度 助成金増額について

※以上 3 件の議案を原案、審議通り決議

(ウ)第 16 回(中間総括会議):2015 年 11 月 28 日(土)

- ・ はじめに(中間総括会議の目的及び事前作業)
- ・ 現状報告
- ・ 課題問題点について
- ・ 解決策について
- ・ 今後の秋山財団ネットワーク形成事業助成の在り方について

※以上 5 件について協議を行い、2016 年度事業「ネット&ワーク」(コラボ塾)を開催することとした。

(5) 賛助会員に関する事項

[法人会員:8 法人]

(五十音順・敬称略)

株式会社 エイ・ケイ・ケイ
エーザイ 株式会社 札幌コミュニケーションオフィス
株式会社 エス・ディ・ロジ
第一三共 株式会社 札幌支店
大鵬薬品工業 株式会社 札幌支店
学校法人 東日本学園
株式会社 北海道総合技術研究所
ヤクハン製薬 株式会社

[個人会員:12 名]

(五十音順・敬称略)

伊 東 孝
浦 崎 雅 博
金 岡 祐 一
萱 場 利 通
菊 地 浩 吉
田 尻 稲 雄
谷 中 重 雄
徳 田 達 介
古 川 晃
前 田 三 郎
松 本 脩 三
八 島 壯 之

(6) 寄附に関する事項(運用財産への寄附)

(敬称略)

年 月 日	寄 附 者 名
2015 年 7 月 15 日	鐘ヶ江 邦政
7 月 30 日	卓球クラブ クロッカス
8 月 18 日	伊東 孝
8 月 31 日	柴山 良彦
9 月 3 日	北海道薬科大学
9 月 3 日	山川 寛之
10 月 30 日	榎本 賢
11 月 12 日	藤井 茂

(法人 1・団体 1・個人 6)

別紙

2015 年度 秋山財団賞及び各種助成金

区 分	件 数	金 額
1. 秋山財団賞	1 件	2,000,000 円
2. 研究助成金	33 件	21,800,000 円
3. ネットワーク形成事業助成金	新規 4 件	2,800,000 円
	継続 5 件	5,500,000 円
合 計	43 件	32,100,000 円

1. 秋山財団賞

	氏名	所属機関	役職	贈呈額
1	清水 宏	北海道大学大学院医学研究科	教授	200万円

2. 研究助成

※敬称略、所属・役職などは受付時のものです。

(1) 一般助成(13件:1,180万円)

	氏名	所属機関	役職	贈呈額
1	畠山 鎮次	北海道大学大学院医学研究科	教授	70万円
2	舘野 高	北海道大学大学院情報科学研究科	教授	100万円
3	石津 明洋	北海道大学大学院保健科学研究所	教授	100万円
4	東藤 孝	北海道大学大学院水産科学研究所	准教授	100万円
5	中尾 稔	旭川医科大学医学部	准教授	100万円
6	氏家 英之	北海道大学病院皮膚科	助教	100万円
7	磯田 典和	北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター	准教授	70万円
8	増田 隆一	北海道大学大学院理学研究院	教授	100万円
9	小林 正紀	北海道大学大学院薬学研究所	講師	70万円
10	北村 浩	酪農学園大学獣医学群	教授	100万円
11	西川 祐司	旭川医科大学医学部	教授	100万円
12	上井 幸司	室蘭工業大学大学院工学研究科	准教授	70万円
13	寺尾 晶	北海道大学大学院獣医学研究科	准教授	100万円

(2) 奨励助成(20件:1,000万円)

※敬称略、所属・役職などは受付時のものです。

	氏名	所属機関	役職	贈呈額
1	新熊 悟	北海道大学大学院医学研究科	特任助教	50万円
2	佐藤 精一	北海道大学遺伝子病制御研究所	助教	50万円
3	藤岡 容一郎	北海道大学大学院医学研究科	特任助教	50万円
4	山口 聡一郎	北海道大学大学院獣医学研究科	助教	50万円
5	福村 忍	札幌医科大学医学部	診療医	50万円
6	佐藤 恵亮	北海道薬科大学薬学部	助教	50万円
7	提箸 祥幸	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	主任研究員	50万円
8	小泉 逸郎	北海道大学大学院地球環境科学研究所	准教授	50万円
9	阿部 匠	北海道医療大学薬学部	助教	50万円
10	佐々木 瑞希	旭川医科大学医学部	助教	50万円
11	芳賀 早苗	北海道大学大学院保健科学研究所	博士研究員	50万円
12	戸上 紘平	北海道薬科大学薬学部	講師	50万円
13	村田 亮	酪農学園大学獣医学群	講師	50万円
14	大栗 敬幸	旭川医科大学医学部	助教	50万円
15	鹿原 真樹	旭川医科大学医学部	特任助教	50万円
16	黒木 喜美子	北海道大学大学院薬学研究所	助教	50万円
17	村井 勇太	北海道大学大学院先端生命科学研究所	助教	50万円
18	宮園 貞治	旭川医科大学医学部	助教	50万円
19	川合 佑典	帯広畜産大学動物・食品検査診断センター	助教	50万円
20	富川 創平	おびひろ動物園 飼育展示係	主任	50万円

※敬称略、所属・役職などは受付時のものです。

3. ネットワーク形成事業助成(9件:830万円)

(1) 新規助成<ネットワーク形成事業助成【A】:“地域をつなぐ”プロジェクト>(2件:200万円)

	プロジェクト名	プラットフォームメンバー	贈呈額
1	厳冬期の災害に向き合い、 「地力(ちぢから)」の向上でいのちを護る	根本 昌宏(代表者)、尾山 とし子、 西村 淳、西村 みゆき、藤枝 真理、 有田 敏彦、藤澤 利光、竹中 正彦、 西野 直樹、萬谷 純子	100万円
2	「生きづらさ」を原動力に 「生きること」の意味を再発信!	日置 真世(代表者)、増田 勝也、 小國 香代子、丸山 凧沙、高橋 信也、 滝本 大将、山田 大樹、小松 健一、 尼野 千絵、橋 ジュン、他6名	100万円

※敬称略、プラットフォームメンバーは、受付時のものです。

(2) 新規助成<ネットワーク形成事業助成【B】:“いのちをつなぐ”プロジェクト>(2件:80万円)

	プロジェクト名	プラットフォームメンバー	贈呈額
1	北の高校生会議	田中 駿介(代表者)、村岡 龍岳、 秋山 真路、畠山 拓実、河野 千鈴、 竹中 理紗、佐藤 沙也加、木元 絢美、 村椿 哲郎、渡辺 康人、他5名	30万円
2	明日のニセコエリアの礎は私達が創る “本物の農”の営みから!	村上 勇太(代表者)、前田 康晴、 大崎 陽菜、萩原 敦也、鈴木 颯太、 中筋 廉、佐藤 光一郎、佐藤 翔也輝、 板橋 恭子、松本 奈巳、他7名	50万円

※敬称略、プラットフォームメンバーは、受付時のものです。

(3) 継続助成(5件:550万円)

	プロジェクト名	プラットフォームメンバー	贈呈額
1	<“地域をつなぐ”プロジェクト> 次のエネルギー社会を担う人を生み出す エネチェン支援塾	岩井 尚人(代表者)、ビアンカ フェル スト、平本 健太、山中 康裕、 藤井 賢彦、三浦 淳一、他3名	100万円
2	<“いのちをつなぐ”プロジェクト> ハッカの香るまちづくり ～地域の伝統的農産物を 後世に伝えよう～	西山 沢光(代表者)、石田 康幸、 砂野 孟生、合田 恒太、山内 拓哉、 朝野 董、他20名	50万円
3	<“いのちをつなぐ”プロジェクト> ともにつくろう! 江別から発信 食文化の創造	鈴木 みなみ(代表者)、大中 隆、 佐藤 真琴、田中 祥太郎、齊藤 文嗣、 星野 有紀、他6名	50万円
4	<“いのちをつなぐ”プロジェクト> 高校生による被災地とのネットワーク形成	石井 亮太郎(代表者)、鈴木 かなん、 新目 健太郎、武藤 佑輔、笹原 隆史、 森山 正樹、他2名	50万円
5	<“地域をつなぐ”プロジェクト> 大地といのちをつなぐプロジェクト (LoCoTAbLe)	高橋 祐之(代表者)、山本 敬介、 すずき もも、大野 恵子、山本 幹彦、 宮本 尚、他16名	300万円

※敬称略、プラットフォームメンバーは、2015年6月のものです。